

特集号

3/20

令和4年(2022年)

北区ニュース



新庁舎特集

新庁舎建設基本計画中間のまとめをお知らせします

中間のまとめ
全文はこちら



区では、新庁舎建設基本計画の策定に取り組んでいます。
令和4年度末の策定に向けて、広く皆様のご意見をいただくため、「中間のまとめ」として現在の検討内容を取りまとめました。

※令和4年2月に撮影したものに、一部CG処理を施したもので、実際とは異なります。また、光の表現は建物の高さや規模を示すものではありません。

中間のまとめは以下のような内容です

基本的な考え方

これからの庁舎の役割は？
新庁舎で特に重要な課題は？

建設予定地の概要

建設予定地ってどんな場所？
まちづくりとの関係は？

庁舎に備える機能

窓口やオフィスの考え方は？
防災拠点機能って何？

庁舎に必要な性能

脱炭素に向けた取り組みは？
災害時に業務継続できるの？

施設計画

庁舎の規模はどれくらい？
アクセスや周辺環境は？

今後は、設計や工事の進め方、事業全体のスケジュールやコスト、開庁に向けた取り組み等について検討し、計画に追加する予定です。
今回のご意見を踏まえたうえで、改めて計画全体についてパブリックコメントを実施し、新庁舎建設基本計画を策定します。

基本計画の位置づけと目的

本計画は新庁舎建設基本構想で定めた内容を出発点として、各項目について選択と具体化を図り、次の設計段階を円滑に推進するための計画と位置づけ、以下の内容を示します。

- ①設計や工事に向けた条件設定や要求水準 … 庁舎規模、必要諸室、耐震性、環境性能等
- ②開庁に向けて取り組むべきこと …… 業務やサービス改善、にぎわいづくりの方向性
- ③事業の全体像と今後の進め方 …… スケジュール、コスト、財源、事業手法

Webアンケートにご協力ください

アンケート結果は、「東京都北区新庁舎建設基本計画」策定に向け、検討の参考とさせていただきます。

なお、公表する場合は、氏名など個人を特定できる情報は公開しません。

[アンケート実施期間] 3月22日(火)～4月28日(木)

[「中間のまとめ」を閲覧できる場所]

- 区政資料室(第一庁舎1階) ○総務課庁舎・車両管理係(第一庁舎3階5番)
- 北区ホームページ ○区立図書館(4月1日(金)～) ○地域振興室(4月1日(金)～)

[アンケート回答方法] 下記のホームページから、Webアンケートにご回答ください。

※郵送、ファクス、Eメールでも、ご意見を受け付けています。

Webアンケート以外で意見を提出する場合は、件名「新庁舎建設基本計画中間のまとめ」、住所、氏名を記入して、下記お問い合わせ先までご意見をお寄せください。

☎〒114-8508(住所不要) 総務課庁舎・車両管理係

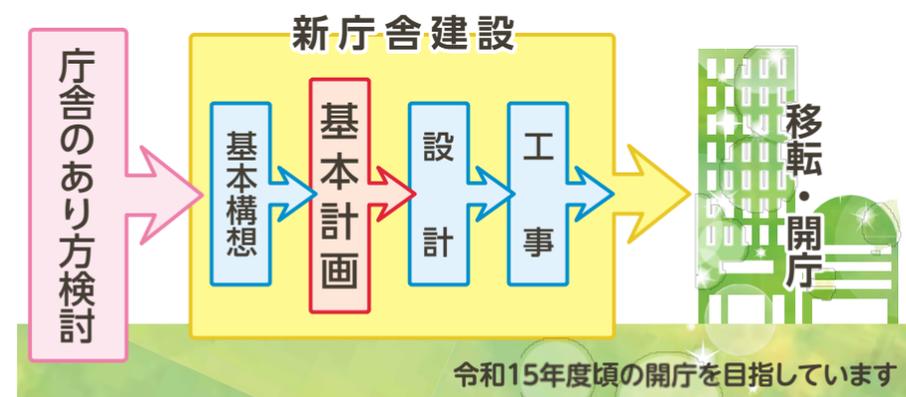
☎(3908)8628 FAX(3905)3423

HP <https://www.shinsei.elg-front.jp/tokyo2/uketsuke/form.do?acs=shinchoshaplanquestionnaire>

EM sharyo@city.kita.lg.jp



アンケートはこちら



東京都北区新庁舎建設基本計画中間のまとめ概要

これまでの経緯

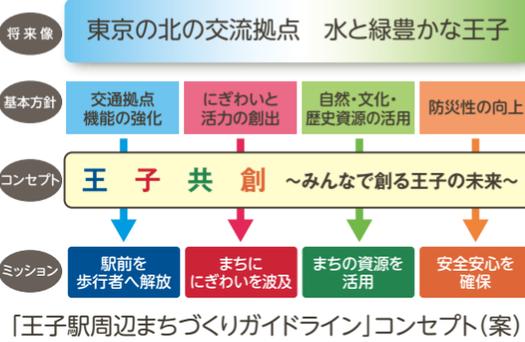
年度	これまでの経緯
平成7(1995)年度～	庁舎の耐震診断調査を実施
平成17(2005)年度	庁舎のあり方について総合的な検討を開始
平成21(2009)年度	庁舎のあり方に関する基本方針を決定 →改築を基本的な方向として、必要な対策と検討を行っていく
平成22(2010)年度	東京都北区新庁舎建設基本構想の検討を開始
平成23(2011)年度	東京都北区新庁舎建設基本構想の策定
平成24(2012)年度～	新庁舎建設基本計画調査研究委員会による検討を開始
平成28(2016)年度	国立印刷局王子工場用地の一部を建設予定地とすることについてパブリックコメントを実施
平成29(2017)年度	国立印刷局と国立印刷局王子工場用地の一部取得に関する協定書を締結 王子駅周辺まちづくりランドデザインを策定

建設予定地と王子駅周辺まちづくり

建設予定地は国立印刷局王子工場用地の一部です。現在、一部施設の解体、新築、移転に向けた準備が進められており、土地の引き渡しは令和10年度以降となる見通しです。

平成29年度に策定された王子駅周辺まちづくりランドデザインでは、まちの将来像として「東京の北の交流拠点 水と緑豊かな王子」が掲げられるとともに、まちづくりの基本方針が示されています。

さらに、新庁舎建設を契機としたまちづくりの動向を的確に把握しながら、今後の王子駅周辺で活かすべきまちの特性や解決すべき地域の課題に、適切に対応した計画的なまちづくりを誘導していくことを目的とした「王子駅周辺まちづくりガイドライン」の策定に向けて、検討が進められています。



基本的な考え方

新庁舎建設基本構想で定めた基本理念とめざすべき庁舎像は普遍的価値を備えたものであるため、今後も継承していきます。さらに、建設予定地の選定や時代の変化により生じた新たな課題に関する庁舎整備の方向性を加え、本計画において選択と具体化を進めるための基本的な考え方として、整備基本方針を定めます。

新庁舎建設基本構想

新庁舎建設の基本理念
「人と環境にやさしく、
区民に開かれた 北区のシンボル」

めざすべき庁舎像

- 「安全・安心」の拠点となる庁舎
- 人にやさしい庁舎
- 環境に配慮し、長持ちする庁舎
- 区民に開かれた庁舎
- 北区のシンボルとなる庁舎

基本構想後の検討

これからの庁舎の役割を改めて考える必要があります。

- DXの進展
- コロナ禍の経験
- 将来的な人口減少

令和元年度に実施した区民ワークショップでは北区らしさをテーマに、さまざまな意見をいただきました。



建設予定地には特に重要な2つの課題があります。

- 災害への対応
- にぎわい創出

災害への対応とにぎわい創出に関するモデルケースを想定し比較することで、庁舎が果たす役割や期待できる効果、整備の実現可能性等について検討しました。

整備基本方針

新しい時代のサービスや協働を支える

区民と行政が顔の見える関係を育みながら、新しい時代のサービスや協働の取り組みを支える場として人々に利用されることを目指します。

まちづくりと連携した動線や配置

周辺街区での開発や、王子駅西側の高台に向けた経路整備の可能性など、今後予想されるまちの変化に対応できる動線や建物の配置とします。

災害対策本部の業務継続を確保

災害対策における指揮命令の拠点として業務を継続できることを最優先とします。また、災害の規模や種類に応じた周辺施設との役割を整理します。

区の情報や魅力の発信と交流の促進

低層部には区の情報や魅力の発信と人々の交流促進につながる新たな機能を導入し、区民や企業等による企画、運営が行われることを目指します。

高い環境性能の目標を達成

区有施設を代表する庁舎にふさわしい高い環境性能の目標を設定し、その達成に向けて省エネルギー等の先進的な技術を積極的に取り入れます。

にぎわい創出と回遊性向上を実現

区民に親しまれる広場でのにぎわい創出を図るとともに、快適で魅力ある歩行者空間を整備し、まちの回遊性向上につなげます。



基本計画での具体化

基本機能

必要な性能

施設計画

事業計画

基本機能

防災拠点機能

◆防災拠点機能の方針

- ・いかなる自然災害が発生しても業務継続できる
- ・関係機関や団体と連携、協働できる
- ・不測の事態にも臨機応変に庁舎を活用できる

◆被害想定

- ・東京湾北部地震(M7.3)、大規模水害(荒川氾濫)、都市型水害(内水氾濫)を想定

◆災害時における役割

- ・災害対策本部としての機能強化
- ・災害の種類や規模に応じて柔軟に役割を変えられるよう代替施設を想定
- ・避難行動時において一時的に身を寄せる可能性にも配慮

◆災害対策本部の機能

- ・本部会議室、本部活動室、情報通信システムの整備、関係機関控室等

◆災害対策活動を支援する機能

- ・職員の休憩仮眠スペース、生活総合相談窓口、オープンスペース等



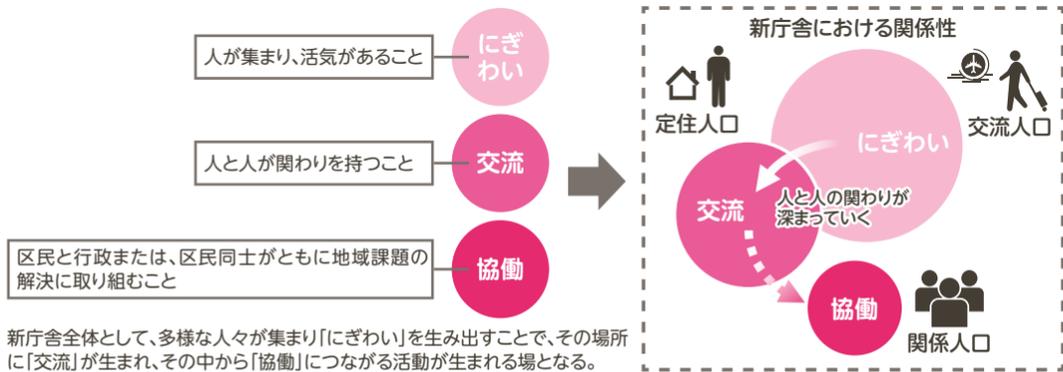
災害対策本部(川口市)



東京都北区洪水ハザードマップより抜粋

区民交流・協働推進機能

にぎわい、交流、協働を相互に結びつけたものと捉え、多様な人々が集まり利用することを通じて、北区との関わりを深めながら豊かなライフスタイルを実現できること、王子駅周辺の価値が高まり、すべての人にとって「きたくなる庁舎」となることを目指します。



◆低層部のにぎわい創出

- ・イベントの開催が可能なまとまりのある広場を整備します。
- ・区の情報や魅力の発信と人々の交流促進につなげるため、展示、飲食、販売等の機能を導入します。
- ・具体的な整備内容、区民参加や公民連携による進め方、低層部の管理運営のあり方等について、設計と並行して検討を進めます。

◆協働支援の拠点

- ・区民利用機能を備えた新たな協働支援の拠点を整備します。
- ・共用部や余剰スペース等を有効に活用し、庁舎全体で協働が実現できるよう工夫します。



アオーレ長岡の屋根付き広場



展示スペース(横浜市庁舎)

議会機能

◆議会機能の方針

- ・議事堂は庁舎と同じ棟として整備し、議決機関としての独立性とセキュリティを確保しつつ、行政との連携にも配慮してフロア配置や動線を工夫します。
- ・効率的な議会運営と充実した審議が行えるよう、ICT環境を整備します。
- ・区民にとってより身近で開かれた議会を実現するため、ユニバーサルデザインを導入するとともに、広報・情報発信機能の強化を図ります。

複合化する機能

建設予定地を活用しながら区民の利便性向上や施設の適正配置を実現するために、北区NPO・ボランティアがらぎ、スペースゆう、北区社会福祉協議会を複合化の対象として今後の検討を進めます。

区民サービス機能

◆区民サービスの考え方

- ・新庁舎開庁までに、新しい技術や制度の活用が進み来庁しなくてもさまざまな手続きができるなど、区民サービスのあり方が大きく変わることが想定されます。
- ・プライバシーを守りながら、専門性の高い内容にも応えるために、相談機能の充実等に重点を置き、来庁者が「来て良かった」と感じることでできるサービスの提供を目指します。

◆窓口の配置

- ・「来庁者が少ない移動でサービスを受けられる」「来庁者が一つの窓口でさまざまな手続きを済ませられる」という考え方のもと、窓口機能を集約した北区版総合窓口を目指します。
- ・低層階には、区民が頻繁に利用する各種行政サービスを集約し、関連性の高い窓口を近接させ、効率的でわかりやすく配置します。
- ・執務室と窓口が分離する可能性や、窓口のワンストップ化等も視野に入れ、より良いサービスを実現するための働き方と併せて検討します。
- ・多様な来庁者の特性に配慮し、安心して相談しに来ることができる配置とし、臨時窓口の必要性やサービスの革新的な変更にも対応できるよう、余裕ある空間や設え、柔軟性の高いゾーニングとします。

◆相談スペース

- ・各フロアに充実させ、音漏れ防止等、プライバシーに配慮します。

◆待合スペース

- ・多様な来庁者に配慮した、ゆとりあるスペースを設置します。

◆打ち合わせスペース

- ・気軽に使えるオープンなスペースを確保します。

◆案内

- ・来庁者が目的の場所に移動しやすいよう、ICT技術を活用して、バリアフリーに配慮した案内表示を設置します。



待合スペース(藤沢市役所)



執務機能

来庁者へのサービス向上のため、職員が自由度をもって安心して働くことのできる環境整備の具体化を図ります。

◆執務機能の方針

- ・働く場所を選択できる
- ・安心して能力を発揮できる
- ・多様な人材が連携できる

◆デスクレイアウト

- ・ユニバーサルレイアウトを導入し、フリーアドレスへの移行も検討

◆文書管理・物品管理

- ・省スペース化とICT化推進のため文書量を50%削減
- ・消耗品や物品の標準化、共有化

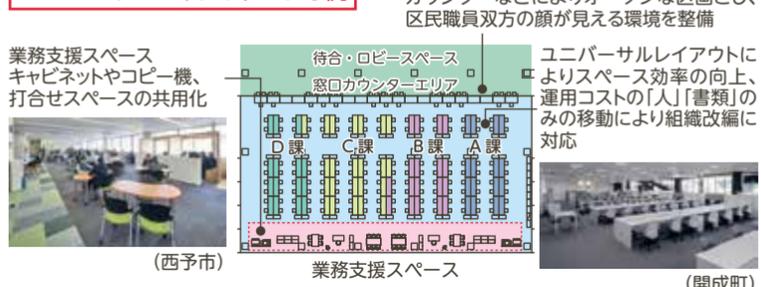
◆会議・コミュニケーション

- ・会議室は稼働率70%程度で適正規模、適正数を配置
- ・web会議やビジネスチャット等のツールを導入

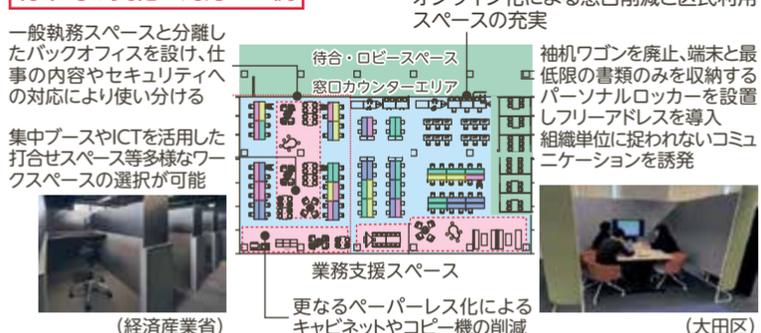
◆その他

- ・新庁舎移転を見据えた業務システムの更新
- ・更衣室や休憩場所を確保、健康に配慮した環境整備

ユニバーサルレイアウトによる例



将来的な変化に対応した例



必要な性能

環境性能

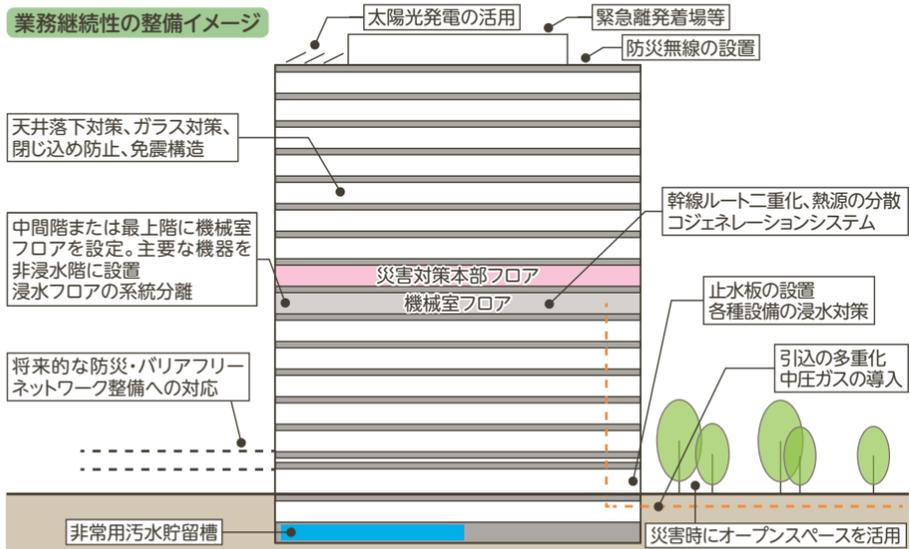
- ・省エネルギー、省資源、周辺の自然環境との調和等、環境に配慮した庁舎を整備します。
- ・総合的な環境性能としてCASBEE*でSランクを取得します。
- ・省エネルギー性能としてZEB*Orientedの達成を目標とし、さらなる取り組みによるZEB readyの可能性についても検討します。
- ・王子駅東側エリアはまとまった緑地が少ないことから、地上部を中心に積極的な緑化を図ります。

※CASBEE:Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiencyの略称で「キャスビー」と呼ぶ。建築環境総合性能評価システム。建築物の環境性能で評価し格付けする手法。
 ※ZEB:Net Zero Energy Buildingの略称で「ゼブ」と呼ぶ。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを旨とした建物。ゼロエネルギーの達成状況に応じて、4段階のZEBシリーズ(ZEB,Nearly ZEB, ZEB Ready,ZEB Oriented)が定義されている。

耐震性・業務継続性

- ・耐震安全性の分類としては、構造体はI類、建築非構造部材はA類、建築設備は甲類とします。
- ・地震や水害等の災害の種類と規模に応じて、各種ライフラインの供給や交通インフラの途絶、建物の被害等に備え、必要な業務が継続できる建築、設備等の性能を確保します。

業務継続性の整備イメージ



※このイメージは、設計の足掛かりとなる考え方について簡略化して示したものです。建物の配置や形状、高さ等については、設計段階において決定します。

セキュリティ

- ・来庁者への親切な対応と職員の働きやすさを両立させるセキュリティ対策を計画します。
- ・一部のエリアは休日、夜間等にも多くの人々が利用できるにします。
- ・ICカードによる入退室管理等を導入し、適切なセキュリティレベルを設定します。

ユニバーサルデザイン

新庁舎の整備にあたっては、すべての人にやさしい環境を実現するため、誰もが安心して快適に利用できる庁舎を整備します。

- ・利用者や目的に応じた機能的な窓口スペース
- ・利用者を的確に導く総合案内・案内サイン
- ・子ども連れの来庁者のための授乳室・キッズスペース
- ・誰もが安全・円滑に移動可能な経路
- ・誰もが利用しやすいトイレ
- ・安全性と歩車動線に配慮した来庁者用駐車場



多目的トイレ(さいたま市某施設)

柔軟性

区民ニーズや時代の変化に対応し、長期間にわたって使用できる庁舎を目指すため、以下の目標を実現するための柔軟性を備えます。

- ・制度や組織の改正、人員の増減、新たな窓口の設置など頻度の高い変化に対する柔軟性
- ・必要な庁舎規模の大幅な増減や他の公共施設の移転など開庁後も変化し続ける社会や周辺の状況に対応できる柔軟性
- ・平時に利用するスペースを災害時にも利用できるよう設定した災害時における柔軟性

メンテナンス性

長期間にわたって庁舎を使用していくことをふまえ、LCC*を抑えたロングライフ庁舎を整備します。そのために、メンテナンスしやすく更新性に優れた庁舎を目指します。

※LCC:ライフサイクルコスト。ライフサイクルにわたって発生する費用。建設費から、光熱水費、点検・保守・清掃費などの運用維持管理費用、修繕・更新費用、解体処分費や税金・保険費用まで含む。

施設計画

条件設定

◆配置予定部署・職員数

- ・現在の第一庁舎～第五庁舎、滝野川分庁舎のほか、北とびあや民間オフィスビルに配置している部署についても、原則として新庁舎へ配置します。職員数(会計年度任用職員を含む)は令和元年度時点の1,537人と設定します。
- ・部課の編成が変わっても負担なく対応できる建築計画を検討します。

◆駐車場・駐輪場(公用車を含む)

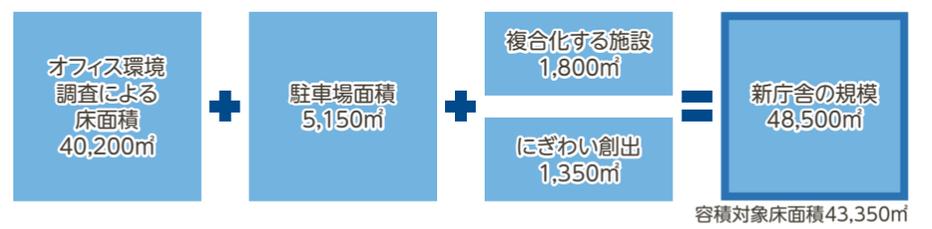
- ・駐車場:110台 バイク置き場:14台 駐輪場:600台
- ・電気自動車の導入やカーシェアリングによる公用車削減、民間事業者による駐車場管理の可能性について、今後検討していきます。

◆基準階

- ・オフィス面積を効率的に確保するため、基準階の床面積は2,500㎡～3,500㎡程度とします。
- ・執務室は適正なスパン設定とモジュール化、システム天井やOAフロア化などにより、将来の変更に対応できるフレキシブルな空間とします。

規模の設定

令和元年度にオフィス環境調査を行い、新庁舎の規模を検証しました。本計画では一定程度の面積削減に取り組むこととし、駐車場等の面積を加え、以下のとおり規模を設定します。



配置及び動線

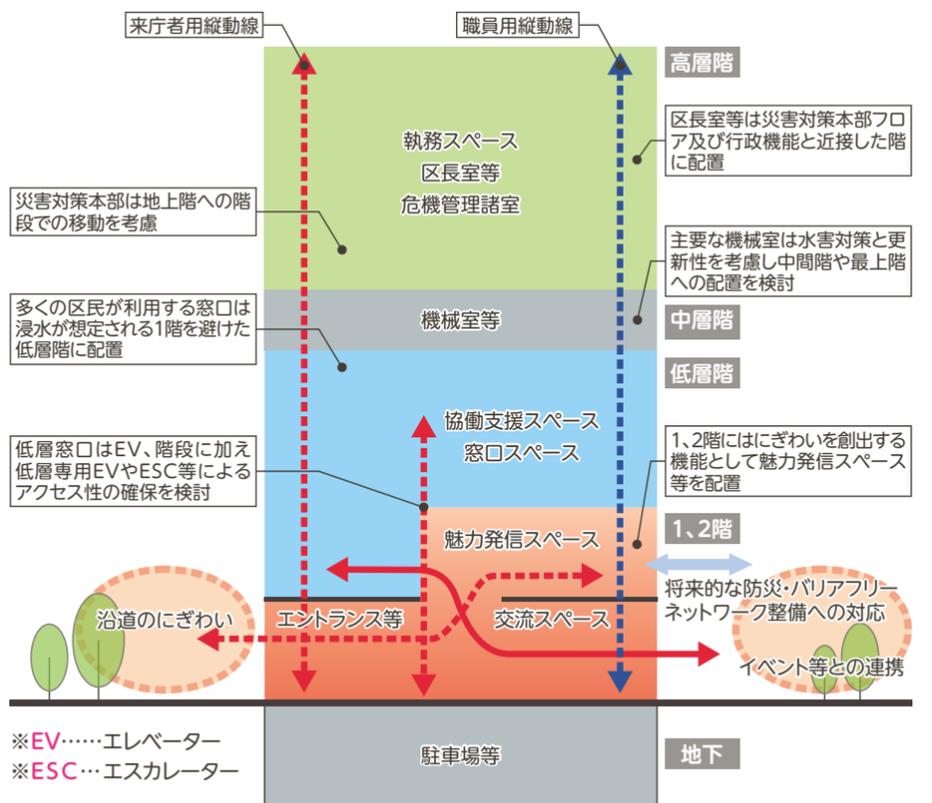
◆庁舎への動線

- ・駅利用者やバス、自転車等すべてのアクセスに対してわかりやすいアプローチ空間を確保し、将来的な人の流れの変化も想定した配置及び動線とします。
- ・車両は新設する道路からの進入を原則とし、歩行者と自動車動線の交錯を抑制するよう配慮し、適切に出入口を配置します。

◆周辺との関係

- ・建設予定地の東側については国立印刷局王子工場や新設される道路の整備と連携しながら快適で魅力ある歩行者環境を整備します。

断面構成のイメージ



※EV……エレベーター
 ※ESC…エスカレーター

※このイメージは、設計の足掛かりとなる考え方について簡略化して示したものです。建物の配置や形状、高さ等については、設計段階において決定します。

説明会のご案内

中間のまとめの内容や考え方についてお伝えするため、説明会を開催します。質疑応答の時間も設けていますので、ぜひお越しください。

○4月13日(水) 午後6時30分～ 滝野川会館3階301・302会議室(先着30名)

日時・会場 ○4月16日(土) 午前9時30分～ 北とびあ7階第2研修室(先着60名)

○4月18日(月) 午後6時30分～ 赤羽会館4階小ホール(先着40名)

※事前申し込みは不要です。ご都合の良い日程・会場に、当日、直接お越しください。 ※会場の収容人数の都合により、入場をお断りする場合があります。あらかじめご了承ください。

※新型コロナウイルス感染症の感染状況によって、予定を変更する場合があります。

中間のまとめは、基本計画の現在の検討内容を取りまとめたものです。今後は、設計や工事の進め方、事業全体のスケジュールやコスト、開庁に向けた取り組み等について検討します。その内容を基本計画に追加して、令和4年度末に策定する予定です。